



日本語検定

ミ ニ テ ス ト

6

級

問1 ◉敬語

【 】のようなきの言い方として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

一 【友達のお兄さんと新しくできた遊園地の話をしている】

- 1 もうあの遊園地には行ったのですか。
- 2 もうあの遊園地にはいらっしやいましたか。
- 3 もうあの遊園地には行ったの。

二 【公園でたこを上げているおじさんに】

- 1 このたこは、ずいぶん高く上がるね。
- 2 このたこは、ずいぶん高く上がりますね。
- 3 このたこは、ずいぶん高く上がられますね。

問2 ◉言葉のきまり

一、二の文は、日本語の文として適切でしょうか。適切な文であれば○、不適切な文であれば×で答えてください。

一 テレビのニュースによると、市の動物園でライオンの赤ちゃんが生まれたそうです。

二 私の学校の自まんは、有名な画家が卒業しました。



問3 ● 〈いろいろな言葉〉

【一】の【二】の中の【三】の言葉は、表す意味の点でどんな関係かんけいになっているでしょうか。同じ関係になっている組み合わせを一つ選えらんで、番号で答えてください。どちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかどういふことにも注意してください。

一 【ハーモニカ—リコーダー】

- 「1 せんべい—米 2 チョコレート—ビスケット 3 キャンデー—菓子」

二 【ぞうきん—そうじ】

- 「1 ほうちよう—なべ 2 卵たまご—オムレツ 3 まな板—料理りょうり」

問4 ● 〈言葉の意味〉

一、二のようなことを言うとき、（ ）（ ）に入る言い方として、最もふさわしいものを選んで、番号で答えてください。

一 ほしい鉄道模型もけいがあるのだが、あまりに値段ねだんが高いので、（ ）
（ ） 見ているしかない。

- 「1 指折さしおり数えて 2 指をくわえて 3 指をさして」

二 サッカーも水泳も続つづけたい気持ちは分かるけれど、あぶはち（ ）
（ ） にならないようにね。

- 「1 取らず 2 知らず 3 入れず」

問5 ●〈書き表し方〉

一、二の文には、かなづかいや送りがなの付け方の正しくない言葉が一つずつあります。その言葉の正しい書き表し方を答えてください。

一 父は、毎朝すしずめの電車に乗って会社に通っている。

二 浅さい池にしかけたあみに、おおよそ二十ぴきほどの魚がかかっていた。

問6 ●〈漢字〉

一、二の（ ）に入る正しい漢字を選んで、番号で答えてください。

一 応えんしてくれる仲間の（ ）待にこたえられるよう、次の試合ではがんばりたい。

〔 1 機 2 期 〕

二 午後になって、太陽の光が教室の中にも（ ）してきた。

〔 1 指 2 差 〕

問1 ● 解答 一：2 二：3

一 友達のお兄さんには、尊敬語でたずねるのが適切です。1の「行ったのですか」、3の「行ったの」には、尊敬語が使われていません。「行く」ことを尊敬語で言った、2の「いらつしやいましたか」が適切です。

二 目上の人のすることには尊敬語を使う必要がありますが、その人が上げているたことに對しては必要はありません。したがって、3の「上がられますね」は不適切です。2の「上がりますね」が、丁寧な言い方で適切です。1の「上がるね」は、友達に言うような言い方で不適切です。

問2 ● 解答 一：○ 二：×

一 「テレビのニュースによると」とあるので、「～そうです」「～ということです」などのような、ほかの人から聞いたことだということを表す言い方で終わるのが適切です。この文は、そうした形になっているので適切です。

二 「私の学校の自まんは」とあるので、「～です」「～ことです」などのような言い方で終わるのが適切です。この文は、そうした形になっていないので不適切です。「私の学校の自まんは、有名な画家が卒業したことです。」のようにすれば、適切な文になります。

問3 ● 解答 一：2 二：3

一 「ものの名前と、それと同じなかまになるも

のを表す言葉」という関係です。「ハーモニカ」も「リコーダー」も楽器の一種です。2「チヨコレート」も「ビスケット」も菓子の一種です。1は、「せんべい」は「米」から作られるという関係。3は、「キャンデー」は「菓子」にふくまれるという関係です。

二 「ものの名前と、それが主に何をするために用いられるかを表す言葉」という関係です。「ぞうきん」は、「そうじ」をするときを使うものです。同じ関係なのは、3「まな板」料理です。1「ほうちよう」なべ」は、ともに料理をするときに用いる道具なので、同じなかまという関係になります。2「卵」オムレツ」は、オムレツの主な材料が卵であるという関係です。

問4 ● 解答 一：2 二：1

一 「指をくわえる」が、ほしけれども手が出せず、ただながめている様子を表すので、2「指をくわえて」が適切です。1の「指折り数える」は、あと何日あと何日と言って、早くその日が来ないかと待ち遠しく思う様子を表します。3の「指をさす」は、ある方向や物を指で示すことを表します。

二 巣を張つたくもが、「あぶ」と「はち」を二ひき同時にとろうとして、どちらもとれなかったことから、よくばつて二つのことを一度にしようとして、両方とも失敗してしまうことをたとえて、「あぶはち取らず」といいます。1が適切です。

問5 ● 解答 一：すしづめ 二：浅い

一 「すしづめ」は、「すしづめ」が正しいかなづかいです。「すしづめ」は、「すし」と「つめる」が合わさってできた言葉で、すしを入れた物にぎつりつめたように、多くの人や物がすきまなくつまっている様子をいいます。「づ」は、「すしづめ」や「みかづき(三日月)」のように、二つの語が組み合わさって「つ」の発音が「づ」になるときと、「つづく」のような特別な言葉に使うきまりになっています。

二 「浅さい」は、「浅い」が正しい送りがなの付け方です。「深い」「広い」などの言葉はこのように「い」から送りがなを付けるきまりになっています。

問6 ● 解答 一：2 二：2

一 「機」にも「期」にも、音読みで「キ」という読み方があります。「待」の前に2「期」を付けた「期待」は、望ましいことが実現するのを待つことを表すので、これが当てはまります。1「機」は、何かをするのにちょうどよいと思われるべきを表します。

二 「指」にも「差」にも、訓読みで「さ(す)」という読み方があります。2「差(す)」は、光が届いて明るくなるということを表すので、これが当てはまります。1「指(す)」は、指で示す、指さすということを表します。